

共通取組 重点取組	平成27年度	
	具体的取組	自己評価結果
1 確かな 学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>「確かな学力」の定着を図るため、授業時間の確保や計画的な学習相談を行います。個々に寄り添った支援方法を工夫していきます。</li> <li>数学1年 TT、2、3 年少人数指導、英語全学年少人数を実施し、基礎・基本の確実な定着を図り確かな学力を身につけられるようにしています。単元や時期により習熟度別指導にも取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「確かな学力」の定着を図るため授業時間の確保や学習相談は実施できたが、基礎学力定着のために個々に寄り添った支援についてはさらに工夫を検討していきたい。</li> <li>数学1年 TT、2、3 年少人数指導 英語 2、3 年少人数指導を実施し、基礎・基本の確実な定着を図った。次年度は、より少人数指導の充実に努めたい。</li> </ul>
2 豊かな 心	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめや暴力行為をなくすため、人権教育実践推進校並びに道徳授業力向上推進校として研究を深め、自他ともに生命を尊重し、個々の人権感覚を高める啓発と地域貢献への姿勢を育成していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他ともに生命を尊重し、いじめや暴力行為をなくすために、人権教育、平和教育、福祉教育に取り組んだが、更に、充実に努めていきたい。</li> </ul>
3 健やかな 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>健やかな心身の育成と体力の向上を図るため、体育的、文化的活動の充実を図っています。</li> <li>生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育成しています。</li> <li>二年間の食育実践推進校としての成果を生かし、「子どもと家庭、学校が協働して取り組む食育の推進」を継続します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健やかな心身の育成と体力の向上を図るため、体育的文化的活動の充実を図った。</li> <li>食育実践推進校として食育の推進を図り、自らが心身の健康や体力の維持増進に関心を持ち実践意欲や振り返る姿勢を育成しつつある。</li> <li>次年度より、教育委員会の弁当販売も実施されることから、更に食に関心を持ち、充実に努めていきたい。</li> </ul>
4 特別支 援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援を必要とする生徒の情報収集をもとに人的、環境整備を充実させ教職員の共通理解を図っています。</li> <li>保護者及び本人の思いに立ち、支援計画を作成し、適切な支援を目指していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援を必要とする生徒の情報収集をもとに人的、環境整備を充実させ教職員の共通理解を図ることができた。</li> <li>保護者及び本人の思いに立ち、個別支援計画を作成し、個々の課題克服に向け、適切な支援をすることができた。</li> </ul>
5. 生徒指 導	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談を充実させ、生徒・保護者の思いに立った支援を心がけ、いじめ等の未然防止に全職員で取り組みます。</li> <li>生徒指導に対して、情報収集や教職員の連携を大切に、迅速な対応を行えるようにしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談を充実させ、生徒・保護者の思いに立った支援を心がけ、いじめ等の未然の取組に全職員であたったが、更なる充実が必要と考える。</li> <li>生徒指導に対して情報収集や教職員の連携を大切に、迅速な対応を心がけた。</li> </ul>
6. キャリ ア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々の協力のもと、1年で出前授業、2年で職場体験学習、3年で自分の今後の進路を考える進路学習を実施し、学年ごとに系統性をもった指導を行っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年で出前授業、2年で職場体験学習、3年で自分の今後の進路を考える進路学習を実施し、系統性をもった指導を行い、自分の将来についてを考える機会にすることができた。</li> </ul>
7. 地域連 携	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区懇談会の運営、推進に保護者と連携しより意義のあるものにしていきます。</li> <li>地域行事への参加を計画的に行うよう、情報収集に心がけ多くの生徒職員が関わっていきます。</li> <li>学校運営協議会を設置し、年に4回実施し、学校運営に生かしてまいります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区懇談会の運営、推進に反省が多く、次年度は教員、保護者、生徒が参加する地区懇にしていきます。</li> <li>地域行事への参加を計画的に行うよう、情報収集に心がけ多くの生徒職員が関わることができた。</li> <li>学校運営協議会を設置し、年に4回実施し、助言を受けることにより学校運営に生かすことができた。</li> </ul>
人 材 育 成 組 織 運 営	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の指導力向上を目指し、さまざまな教育課題に対して組織的に対応することにより、教職員間の連携を深め、校内メンターチームによる研修を充実させ、指導助言していきます。</li> <li>組織の効果的運営のため、ミドルリーダーを育成し、主幹教諭と連携をして教職員育成に繋がる研修を行い意識向上を図っていきます。</li> <li>校内研修の計画的な実施により、教科指導、生徒指導・理解、危機管理能力など、学校に求められる教師力の向上に努めます。</li> <li>教職員が相互に啓発・連携・協働する活気あふれる学校運営に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験年数3年未満の教師を対象に校内でメンターチームによる支援を充実させ、指導力向上を目指し、授業研及び研修等を行った。</li> <li>組織の効果的運営とミドルリーダーの育成を目指し、主幹教諭と連携をし、教職員育成に繋がる研修を行ったが、意識向上までに至らなかった。</li> <li>校内研修の計画的な実施により、教科指導、生徒指導・理解、危機管理能力など、学校に求められる教師力の向上に努めた。</li> <li>教職員が相互に啓発・連携・協働する活気あふれる学校運営に一步近づけた。継続して取り組みます。</li> </ul>

共通取組 重点取組	平成27年度		
	具体的取組	自己評価結果	総括
小中一貫 教育推進 ブロック内 相互評価 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校間で授業見学、領域研究協議会や授業研究会・教科研究協議会を開き、指導力向上に向けて研修する機会を設けることができた。</li> <li>・児童による授業見学、生徒会説明会、部活動体験会を企画し、小中の子どもたちが交流できる場を設けることができた。部活動を見学から体験に変えたことは好評であった。吹奏楽部がブロック4小学校に招かれ、演奏会を実施しているが、中学校や中学生への不安を解消することにたいへん役立っていると言われた。</li> <li>・教員の交流会を通して、教員間の連携を深めることができた。</li> <li>・ブロック内小中一貫教育の効果的な推進について今後も検討を継続していきたい。特に、二小中学校は隣接中学校との連携もあり、交流の日程など工夫が必要である。</li> <li>・中学校の授業参観や行事の案内をブロック内6年生に発信し、中学校の理解を深める機会について検討し、一歩前進させたい。</li> <li>・今年度から、1年生アンケートを実施「中一ギャップ」と関連のある学習や生活のアンケートを実施した。結果は、多くの生徒で中学校生活を意欲的に過ごしている姿が伺えた。</li> </ul>		
学校関係者 評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様々な教育活動には、好意的にご理解を頂いた。本年も、より積極的な生徒の地域行事（お祭り、防災訓練等）への参加・参画を望む声を頂いた。</li> <li>・これからの時代に即した教育観で、育てていくことが大切。</li> <li>・学校評価保護者アンケートの集約結果から、今年度も相談体制についての満足度が低く、本校の課題と共通認識した。</li> <li>・学習評価について、相対評価的な位置づけを求める声も聞かれた。</li> <li>・親が学校に関わる機会がもっと増えるといいのではないかと提案を頂いた。（次年度は、体育祭を土曜開催にする）</li> <li>・部活動の実施数を増やせないかとご意見を頂いた。（努力をしていくと回答した。）</li> </ul>		
評価結果に 対する 学校の見解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価保護者アンケートの集約結果については学校が捉えた課題と同じ課題を感じ議論していただいたことで、次年度への努力点が見えてきた。</li> <li>・保護者、地域の方々のご支援に対して大変感謝している。</li> <li>・相談体制づくりや、体育祭の土曜開催等、積極的に取り組んでいきたい。</li> <li>・今年度、1年生で生活実態のようなアンケートを実施し、保護者と生徒の満足度の結果を考察し公表していきたい。</li> <li>・いただいたご意見に対しては、検討後に学校便りや学校説明会で方向性を具体的に発信していきたい。</li> </ul>		
学校経営 中期目標 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の確実な定着を図るため少人数授業を更に発展・充実させていきたい。また、学習相談の充実を図り、生徒一人ひとりを大切にしたい指導を一層深めたい。</li> <li>・誰もが安心して豊かな学校生活を送るために、人権教育 平和教育 福祉教育 道徳教育等を 充実させ、おもいやり の心を育てることに取り組んできたが、次年度は、「人権教育実践推進校」と「道徳授業力向上推進校」になっているので更なる取り組みをして成果を出したい。</li> <li>・次年度は、生活状況アンケートを月一回実施し、更に相談活動を充実させ、生徒指導面を充実させたい。</li> <li>・学校生活の朝のスタートに朝読書をいれることで、とても落ち着いた学活、授業へと継続できるようになっているので継続したい。</li> <li>・著しい心身の成長期に、心と体の健やかな育成と体力の向上を図るため、体育的、 文化的活動の充実や、食育の推進・ 充実を図ることができつつある。</li> <li>・軌道に乗ってきている小中連携事業も積極的に推進を図りたい。</li> </ul>		